

怪獣ゴルゴ (1960)

GORGO

メディア 映画
ジャンル SF 特撮
製作国 イギリス
色彩 Color
時間 78分
初公開日 1961/01/10
公開情報 MGM

【解説】

アイルランド沖合いで海底火山が爆発、深海より一匹の怪獣が出現した。“ゴルゴ”と名付けられた怪獣は捕獲されるとロンドンへ輸送、サーカスの見世物となるが、その頃、遥かに巨大なもう一匹のゴルゴが現れた。英海軍の猛攻撃もはねのけた巨大ゴルゴはテムズ川に侵入、タワーブリッジを破壊すると遂にロンドンに上陸した。

怪獣大国・日本と比べると洋画の中では意外と少ないヌイグルミ怪獣映画の代表作。ストーリー的にはいたってシンプルなもの（後に我が国の「大巨獣ガッパ」でも真似ていた）で、「原子怪獣現わる」(53)に続くE・ローリーの演出も野暮ったい限りだが、特撮シーンになると俄然面白くなる。夜の効果をうまく利用したロンドン大破壊のスペクタクルは、例えば同時期の東宝特撮を凌いでいると言ってもよйдらう。実物大の子ゴルゴ輸送シーンは「スペクトルマン」の“マウントドラゴン”輸送シーンの元ネタであった事もよく判る（頼む、誰か判ってくれ〜！）。

【クレジット】

| | | | |
|-------|-------------------------|-----------------------------|-----------|
| 監督 | ユージン・ローリー | Eugene Lourie | |
| 製作 | ウィルフレッド・イーデス | Wilfred Eades | |
| 製作総指揮 | フランク・キング | Frank King | |
| 脚本 | ジョン・ローリング ダニエル・ハイアット | John Loring Daniel Hyatt | |
| 撮影 | F・A・ヤング | F.A. Young | |
| 特撮 | トム・ハワード | Tom Howard | |
| 編集 | エリック・ボイド＝パーキンス | Eric Boyd-Perkins | |
| 音楽 | アンジェロ・フランチェスコ・ラヴァニーノ | Angelo Francesco Lavagnino | |
| 出演 | ビル・トラヴァース | Bill Travers | ジョー・ライアン |
| | ウィリアム・シルヴェスター | William Sylvester | サム・スレイド |
| | ヴィンセント・ウィンター | Vincent Winter | ショーン |
| | クリストファー・ローデス | Christopher Rhodes | マッカーティン |
| | ジョセフ・オコナー | Joseph O'Conor | ヘンドリックス教授 |
| | ブルース・セトン | Bruce Seton | フラハーティ教授 |
| | マーティン・ベンソン | Martin Benson | ドーキン |
| | モーリス・カウフマン | Maurice Kaufmann | |

allcinema

ベイジル・ディグナム

バリー・キーガン

Basil Dignam

Barry Keegan